

作成/改定日： 2025年06月30日

整理番号 S001978

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: NIKKOL CA-3475V
会社名	: 日本サーファクタント工業株式会社
住所	: 栃木県宇都宮市平出工業団地 7-14
担当部門	: 品質管理部
電話番号	: 028-661-6121
FAX番号	: 028-663-0426
メールアドレス	: info-sds@nikkolgroup.com
緊急連絡先	: 日光ケミカルズ株式会社 営業部03-3662-7055
推奨用途及び使用上の制限	:

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	: 区分2
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分5
急性毒性（経皮）	: 区分5
急性毒性（吸入：ガス）	: 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分2
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分1
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分1
オゾン層への有害性	: 分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体および蒸気  
飲み込むと有害のおそれ  
皮膚に接触すると有害のおそれ

皮膚刺激  
 重篤な眼の損傷  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 臓器の障害  
 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

：熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 。－禁煙  
 容器を密閉すること。  
 容器を接地すること／アースをとること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 取扱い後はよく洗うこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 環境への放出は避けること。

【対応】

：皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
 汚染された衣類を脱ぐこと。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ただちに医師に連絡すること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。  
 流出物を回収すること

【保管】

：涼しい所／換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。

【廃棄】

：内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

【使用上の注意】

：安全データシート（SDS）を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

：混合物

官報公示整理番号（化審法）

：有り

官報公示整理番号（安衛法）

：有り

成分及び含有量

：

成分	含有量 (%)	/ CAS RN®	/ 官報公示整理番号
塩化ジステアリルジメチルアンモニウム	75	/ 107-64-2	/ 2-184
イソプロピルアルコール	15	/ 67-63-0	/ 2-207
水	10	/ 7732-18-5	/ -

## 4. 応急措置

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 吸入した場合<br>皮膚に付着した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>: 多量の水と石鹸で洗うこと。<br>汚染された衣類を脱ぐこと。                                  |
| 目に入った場合             | : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して<br>いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること<br>。<br>眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合             | : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。<br>ただちに医師の診断／手当てを受けること。<br>被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。              |

## 5. 火災時の措置

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 適切な消火剤                  | : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状<br>水   |
| 使ってはならない消火剤<br>特有の危険有害性 | : データなし<br>: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれる<br>ので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。  |
| 特有の消火方法                 | : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火<br>作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退<br>避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放<br>水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよ<br>う適切な措置を行う。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置   | : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用す<br>る。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含ま<br>れるので、消火作業では、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸<br>入を避ける。                                      |

## 6. 漏出時の措置

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置         | : 作業には、必ず保護具（手袋、眼鏡）を着用する。多量の場合、<br>人を安全に退避させる。必要に応じた換気を確保する。  |
| 環境に対する注意事項<br>封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。<br>: 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた<br>後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す<br>。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導い<br>てからドラム等に回収する。 |
| 二次災害の防止策                      | : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備す<br>る。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因<br>となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発<br>生させない安全な用具を使用する。                         |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 取扱い<br>技術的対策      | : 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置す<br>る。                                     |
| 接触回避<br>安全取扱い注意事項 | : 火気注意<br>: 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具<br>を着用。取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 |
| 保管<br>適切な保管条件     | : 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。  |

安全な容器包装材料

: 情報なし

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

許容濃度

日本産業衛生学会

A C G I H

: 設定されていない

: イソプロピルアルコール: 400ppm (2007年度版)

: イソプロピルアルコール: TWA 200ppm (2008年度版)

設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

: 通常の取り扱いでは特に必要ない。

手の保護具

: 不浸透性保護手袋

眼、顔面の保護具

: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣

特別な注意事項

: データなし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

: 固体

色

: 白色～淡黄色

臭い

: 特異なにおい

融点/凝固点

: データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

: データなし

可燃性

: データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

: 上限: データなし, 下限: データなし

引火点

: 24.8°C(セタ密閉式)

自然発火点

: データなし

分解温度

: データなし

pH

: 4.5～7.5(1%水溶液)[参考値]

動粘性率

: データなし

溶解度

: 水に分散

n-オクタノール/水分配係数

: データなし

蒸気圧

: データなし

密度及び/又は相対密度

: データなし

相対ガス密度

: データなし

粒子特性

:

その他のデータ

: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

: 通常の使用では安定。

化学的安定性

: 通常の使用では安定。

危険有害性反応可能性

: データなし

避けるべき条件

: データなし

混触危険物質

: データなし

危険有害な分解生成物

: 一酸化炭素, 窒素化合物

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)

: データなし

急性毒性 (経皮)

: データなし

急性毒性 (吸入: ガス)

: データなし

急性毒性 (吸入: 蒸気)

: データなし

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	
IARC	: 設定されていない
NTP	: 認定されていない
日本産業衛生学会	: 認定されていない
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性-単回暴露	: データなし
特定標的臓器毒性-反復暴露	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性	: (製品データ)データなし(成分データ)塩化ジステアリルジメチルアンモニウム：①甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=0.16 mg/l②96時間LC50：0.290～0.558 mg/l(ファットヘッドミノー)イソプロピルアルコール：魚類(ヒメダカ)の96時間LC50>100mg/l
残留性／分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 1.3. 廃棄上の注意

焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

## 1.4. 輸送上の注意

国内規則	: 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
国際規則	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号：	
IATA：UN Number	: UN1993
Proper Shipping Name	: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
Class	: Class 3
Packing Group	: III
IMDG：UN Number	: UN1993
Proper Shipping Name	: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
Class	: Class 3
Packing Group	: III
Additional Information	:
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
緊急時応急措置指針番号	:

## 15. 適用法令

### 国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 第一種指定化学物質 管理番号700:ビス(アルキル)(ジメチル)アンモニウムの塩(アルキル基の構造が直鎖であり、かつ、当該アルキル基の炭素数が12、14、16、18又は20のもの及びその混合物に限る。)(75%)
化審法(特定化学物質、監視化学物質)	: 該当しない
労働安全衛生法	: 表示および通知対象物質(法第57条):N,N-ジメチル-N,N-ジオクタデシルアンモニウム=クロリド、プロピルアルコール 有機則(第2種有機溶剤)表示:イソプロピルアルコール
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 危険物第4類第二石油類(水溶性)
高圧ガス保安法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
船舶安全法	: 可燃性物質(クラス3)
航空法	: 該当しない
その他の法令	:
物質登録情報:	
ENCS(Japan)	: 2-184,2-207,無し

## 16. その他の情報

### 問合わせ先:

会社名	: 日本サーファクタント工業株式会社
住所	: 栃木県宇都宮市平出工業団地7-14
担当部門	: 品質管理部
電話番号	: 028-661-6121
FAX番号	: 028-663-0426
メールアドレス	: info-sds@nikkolgroup.com
緊急連絡先	: 日光ケミカルズ株式会社 営業部03-3662-7055
引用文献	: ・国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラーズガイド 日本語版 国立衛生試験所化学物質情報部編,化学工業日報社,1994年・化粧品ハンドブック”日光ケミカルズ(株)(平成18年度)・CERI・NITE hazard assessment report 2006 特記事項:加温融解する際にはご注意ください。

記載内容は作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は規格値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、使用者の責任においてご配慮をお願いします。